

● 学校長・自治会長からのメッセージ

● 吉澤校長先生より

兵庫県立芦屋高等学校『令和8年度版学校案内』をご覧ください、ありがとうございます。

芦屋高校は、今年創立86年目を迎える歴史ある学校です。長い伝統の中で培われてきた教育の良さを大切にしながら、平成17年度からは普通科単位制高校としてカリキュラムを改編し、学びの形をさらに広げてきました。多くの選択科目の中から、生徒一人ひとりが自分の興味・関心や進路希望に応じて主体的に時間割を組むことができることが、本校の大きな特色です。

校訓『自治・自由・創造』のもと、生徒たちは日々の授業だけでなく、学校行事の企画や運営にも主体的に取り組み、生き生きとした学校生活を送っています。こうした経験を重ねる中で、自ら考え、周囲と協力しながら行動する力が育まれています。卒業生の多くは、社会に出てさまざまな分野でリーダーとして活躍しており、本校にはそのような生徒主体の伝統が、今も脈々と受け継がれています。

本校での毎日の学びや多様な経験を通して、生徒の皆さんは確かな学力はもちろん、人と関わる力や自ら考え判断する力など、これからの時代に必要とされる大切な力を着実に身につけていくことができます。

皆さんとお会いできる日を、心より楽しみにしています。

To Foreign Students:

Ashiya Upper Secondary School offers a special admission quota for foreign students who wish to study at a public full-time high school but have recently arrived in Japan and do not yet have sufficient Japanese language proficiency or communication skills. This selection is intended for students of non-Japanese nationality who have been residing in Japan for three years or less since their arrival.

After enrollment, the school provides support such as Japanese language classes, pull-out lessons, academic assistance utilizing students' native languages, and counseling to support school life, with the goal of helping students achieve their desired career paths after graduation.

For further details, please refer to the application guidelines that will be announced in November.

● 第78代自治会執行部 柳谷自治会長より

本校は、生徒一人ひとりが自ら考え、行動し、社会の担い手として成長することを目指すことのできる学校です。

本校では、授業や部活動、学校行事、自治会活動など、さまざまな場面で主体的な挑戦が求められます。そこには成功だけでなく、迷いや葛藤もあるでしょう。しかし、その経験こそが人を成長させ、自らの可能性を広げる力となります。

本校は、完成された場所ではありません。生徒と教職員がともに考え、ともに創り続ける場所です。一人ひとりの声や行動が学校を形づくり、その積み重ねが伝統となっていくます。

未来は誰かによって与えられるものではなく、自らの手で切り拓くものです。

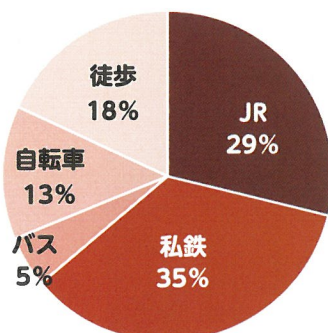
芦屋高校は全ての生徒が主役となって輝ける学校を目指しています！



交通アクセス

- JR「芦屋」下車 徒歩 10 分
- 阪神「芦屋」下車 徒歩 8 分
- 阪急「芦屋川」下車 徒歩 18 分

通学手段



兵庫県立芦屋高等学校

〒659-0063 兵庫県芦屋市宮川町6-3

TEL 0797-32-2325 FAX 0797-32-2327 <https://dmzcms.hyogo-c.ed.jp/kenashi-hs/NC3/>

芦屋高校

詳しくはホームページへ

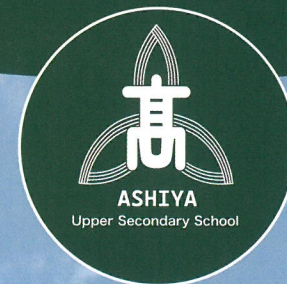


芦屋高校
公式サイト

創立 86 年を迎えた伝統と創造の学び舎

兵庫県立 芦屋高等学校

令和 8 年度版



自分の「好き」を信じてみよう

創造自由

芦屋高校の 特色と魅力



芦高スクール・ポリシー

スクール・ポリシーとは？

芦屋高校ではスクール・ポリシーに基づいてあらゆる教育活動がなされています。
授業はもとより、学校行事、部活動、日々の生活など芦高にしかない学び。
つまり、スクール・ポリシーとは芦屋高校の羅針盤であり、全員で目指していくものなのです。
みなさんも一緒に「自治・自由・創造」のもとに大切な高校生活を過ごしてみませんか？

グラディエーション・ポリシー

こんな人物になって卒業してもらいます！

- 【自治】「自分たちの社会は自分たちの手でつくる」という、社会の先頭に立って活躍できる人！
- 【自由】「好き」ととことん貫き、世の中に「楽しい」を提供できる人！
- 【創造】社会や日常生活に現れた課題に対して主体的に取り組み、柔軟な発想をもって解決に導ける人！



カリキュラム・ポリシー

こうした経験や活動を通して成長してもらいます！

- 【自治】主体的に自治を学ぶ「ジチカツ」を通して、対話を繰り返しながら、よりよい社会をつくる経験を積む。
- 【自由】100種類にも及ぶ授業や、記念祭、体育祭、修学旅行といった学校行事など、芦高にしかない学びを通して、自分の「好き」を見つけ、深めていく。
- 【創造】授業内や学校生活全般にあふれる探究活動を通して、課題解決に挑戦し、とことん追い求める楽しさを知る。



アドミッション・ポリシー

こんな人、ぜひ芦高へ来てください！

- 【自治】現状に満足せず、今の社会のあり方に対して自分の考えを持っている人！
- 【自由】「何かやってみたい」とうずうずしている人！
- 【創造】自分の道を自分で切り拓いていきたい人！



普通科単位制

普通科単位制とは

単位制高校とは、学年による教育課程の区分を設けず、決められた単位を修得すれば卒業が認められる高等学校のことです。学年ごとの進級認定を行わず、3年間で卒業までに定められた単位を修得するシステムになっています。
それぞれの年次で担任と各課の教員がチームとなって、生徒一人一人が進路希望に応じて何を選択すべきかを、丁寧にサポートする体制を整えています。
教員数が多く、習熟度別授業や選択科目など少人数指導を数多く実施しています。

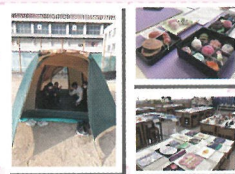
ユニークな選択授業

自分だけの時間割

本校では、多彩な選択科目が設置できる単位制のメリットを生かし、進路希望に応じた選択科目、「好き」をかなえる授業をたくさん用意しています。

本校独自の学校設定科目

マリン・アウトドアスポーツ実習、油彩画、E-input、芦高みらいリサーチ、暮らしの中の書、調理科学、未来科学など。



高大連携講座

大学に行って、通常の大学の講義を大学生とともに受講します。本校の選択科目として扱います。
(関西学院大学、甲南大学、甲南女子大学など)

グローバル教育

外国人生徒の受け入れ

渡日3年以内の生徒を対象に特別枠選抜を行い、日本語をはじめとする必要な学習支援をしっかりと行います。
キーワード：特別的教育課程「日本語指導」取り出し授業
放課後学習活動拠点として、専用の教室（※IEルーム）を整備しています。
※IEルーム：International Education Room

オーストラリア語学研修旅行

夏休みに約2週間、オーストラリアの高校で現地生徒と交流しながら英語を学び、ホームステイを通して異文化への理解を深めます。

国際交流

台湾の新北市立三重高級中学と姉妹校提携を結んでいます。交流を通して互いの文化を学び合い、国際的な視野を広げます。
楽しく実りある機会になっています。



自分たちで作る芦高の伝統

自治会活動

自治会

芦屋高校では「生徒会」のことを「自治会」と呼びます。校訓「自治・自由・創造」を基盤に、生徒が主体となった「自治会」活動が盛んです。記念祭(文化祭)を始め、県立西宮高校との定期戦など様々な学校行事の運営を担います。

ジチカツ

毎年3月にジチカツフォーラムが開催されます。全校生徒が集まり、「自治・自由・創造」について全員で考える総会です。そのなかで芦高生としてのあり方やマインドについて議論し、そして自分たちのルールを自分たちで決定していきます。



卒業生に支えられて

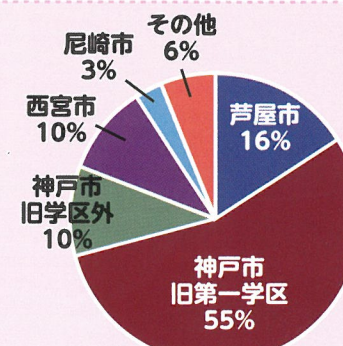
約3万人の卒業生

創立86年を迎える本校の卒業生は約3万人。多くの先輩たちが社会で活躍し、芦高生の活動を支えています。

広い地域から

推薦入試は兵庫県全域から

推薦入試は兵庫全域から受検できます。芦屋市・神戸市だけでなく、阪神間など広い地域から集まっています。



伝統と創造の学び舎

●部活動

運動部

- 男子バスケットボール
- 女子バスケットボール
- 男子テニス ●女子テニス
- 男子ソフトテニス ●女子ソフトテニス
- 男子バレーボール ●女子バレーボール
- 硬式野球 ●サッカー ●ラグビー
- 陸上競技 ●水泳 ●卓球 ●弓道
- 剣道 ●柔道 ●ヨット ●カヌー

文化部

- 写真 ●家庭科研究
- 美術 ●茶道 ●吹奏楽
- コーラス ●ギター研究
- 数理解科学研究 ●将棋
- 漫画研究 ●書道

書記外局

- 放送 ●応援団リーダー
- ボランティア



●1年間の主な行事

4 APRIL

入学式、芦高一揆（文化部の紹介）
校外学習

5 MAY

定期戦
（県立西宮高校と15の部活動で競技）

6 JUNE

記念祭（文化祭）

7 JULY

球技大会
オーストラリア語学研修

8 AUGUST

学校説明会(25日)

9 SEPTEMBER

体育祭

10 OCTOBER

学校説明会(24日)

11 NOVEMBER

ウェルカムウィーク(4～7日)
修学旅行

12 DECEMBER

クリーンアップ作戦
防災訓練

1 JANUARY

進路ガイダンス

2 FEBRUARY

卒業生講演会
卒業式

3 MARCH

ジカカツフォーラム、球技大会

●教育課程 令和8年度入学生（84期生）

あなたの「好き」はありますか？

これから「好き」を見つけたいですか？

芦屋高校はすべての「好き」を求める人を歓迎します！

学力を高める科目、知的好奇心を満たす科目、本格的な実技を行う科目など、設置されている科目の種類はおよそ100種類！

この中から選び、自分だけの時間割を作って、芦屋高校で「好き」とことん追求しましょう！



	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
1 年 次	現代の 国語	言語文化	歴史総合	地理総合	数学Ⅰ	数学Ⅱ	物理基礎	生物基礎	体育	芸術Ⅰ (音楽Ⅰ・ 美術Ⅰ・ 書道Ⅰ)	英語 コミュニケーションⅠ	論理・ 表現Ⅰ	情報Ⅰ	保健	探究Ⅰ	LHR																
2 年 次	体育	公共	化学基礎	家庭基礎	英語 コミュニケーションⅡ	論理・ 表現Ⅱ	物理 生物	化学	数学Ⅱ	世界史探究 日本史探究 地理探究	選択 2-①	選択 2-②	選択 2-③	論理国語	古典探究	数学B	文学国語	保健	探究Ⅱ	LHR												
3 年 次	体育	英語 コミュニケーションⅢ	論理・ 表現Ⅲ	論理国語	古典探究	数学Ⅲ	数学研究C	数学研究D	物理 生物	〇情報 研究	選択 3-①	選択 3-②	選択 3-③	選択 3-④	選択 3-⑤	選択 3-⑥	探究Ⅲ	LHR														

は必修科目

〇は学校設定科目

探究Ⅰ、探究Ⅱ、探究Ⅲは総合的な探究の時間

- 【選択 2-①】 〇古典文学を読み解く A 音楽Ⅱ 美術Ⅱ 書道Ⅱ 〇E-output 〇生活研究 数学Ⅱ 生物
 【選択 2-②】 〇＜言葉の力＞を高める ※〇未来科学 〇映画に見るアメリカ文化と歴史 ※〇マリン・アウトドアスポーツ実習
 〇芦高みらいリサーチ ※〇声楽・器楽 〇数学研究Ⅰ ※〇暮らしの中の書 ※〇アスレティックトレーナー入門
 ※〇油彩画 〇実用英語 〇韓国語 〇中国語 数学B 〇高大連携講座
 【選択 2-③】 〇日本思想・文化研究 〇世界思想・文化研究 〇演奏法の基礎 〇生活造形 〇漢字書法 〇E-output
 〇スポーツ入門 数学Ⅱ 生物

- 【選択 3-①】 〇評論から＜現代＞を考える 〇地域と人間生活 〇スポーツ総合 〇E-input 〇英語探究 ファッション造形基礎
 〇数学研究B
 【選択 3-②】 〇歴史ゼミナール ※〇油彩画 ※〇未来科学 ※〇暮らしの中の書 〇マリン・アウトドアスポーツ実習
 フードデザイン ※〇声楽・器楽 〇数学研究A 〇評論から＜現代＞を考える 〇高大連携講座
 ※〇アスレティックトレーナー入門 〇実用英語
 【選択 3-③】 〇古典文学を読み解く B 〇世界史研究 〇日本史研究 〇小アンサンブル 〇化学基礎研究 〇漢字仮名交じりの表現
 〇数学研究A 〇ネオデザイン 政治・経済 〇英語探究 〇発展物理 〇発展生物 〇調理科学 〇地理研究
 〇ボディメイク実習 〇地理研究 〇発展化学
 【選択 3-④】 〇日本史研究 生物 〇世界史研究 〇音楽総合 数学C 〇書のあゆみ 〇英語探究 〇生活研究
 【選択 3-⑤】 〇古典文学を読み解く B 〇世界史研究 〇日本史研究 〇英語探究 〇数学研究A 〇ボディメイク実習 〇E-input
 保育基礎 〇情報研究 〇物理基礎研究 〇生物基礎研究
 【選択 3-⑥】 政治・経済 倫理 〇古典文学を読み解く B 〇化学基礎研究 音楽Ⅲ 書道Ⅲ 美術Ⅲ 〇スポーツ総合 〇英語探究

注目1 探究に力を入れています！ 新設「芦高みらいリサーチ」「探究ⅡⅢ」など

注目2 芦屋ならではの授業、充実しています！
「マリン・アウトドアスポーツ実習」「高大連携講座」など、学校設定科目が充実！

注目3 学びあいの拡充！必修科目（※の科目。2・3年次が同じ授業を受けます。）が増えてます！

芦屋高校にしかない科目
〇の数を数えてみよう！

●キャリア教育

進路実現に向けて

進路を「自由」に選択できる時代だからこそ迷うし、悩む。芦屋高校では、進路の悩みを大人になる重要な過程ととらえ、さまざまな進路指導を展開しています。

進路ガイダンス

私は理系？文系？（文理選択講演会）、大学の講義を先取り！（大学模擬授業）、志望学部の話をもっと聞きたい！（志望分野別講演会）など各年次で外部講師を招いた進路ガイダンスを実施。段階的、連続的、具体的な指導で進路実現をサポートします。



卒業生講演会

授業への取組や部活動との両立の工夫、希望校に合格するまでの準備や努力してきたことなど卒業生の体験が直接聞ける絶好の機会。先輩からもらった励ましの言葉は苦しいときに自分を支えてくれます。



探究学習の推進

本校では、「総合的な探究の時間」を通して、自ら学び・自ら考える姿勢を大切にしながら社会の諸課題に目を向け、課題解決に向けて探究活動に取り組みます。また、アイデンティティの確立を目指し、生きる力を育成します。

1. 進路について考える

- ・自らの適性や関心をもとに進路について考えます。
- ・どのような学問分野があるかを調べ、それを学ぶための進路について考えます。
- ・職業について知り、将来の自分と社会のかかわりについて関心を高めます。



2. 地域について考える

- ・芦屋市を中心にまちの特徴を分析し、抱える課題について調べます。
- ・芦屋市の課題の解決について、具体的な方策を探究します。
- ・地域の課題から社会の課題についての関心を高めます。
- ・インターネットで調べたことをもとに、自ら体験したり、地域の人にインタビューを行ったりすることで、自らの考えを深めます。
- ・各班で考えた意見をクラスや全体で発表をします。



3. 社会の課題について考える

- ・日常生活や社会の視点をもとに、自ら研究テーマを設定し、課題解決の方法について考えます。
- ・自分の学問分野についての興味・関心をもとに、研究テーマを設定し、探究していきます。



生徒一人一人の進路実現



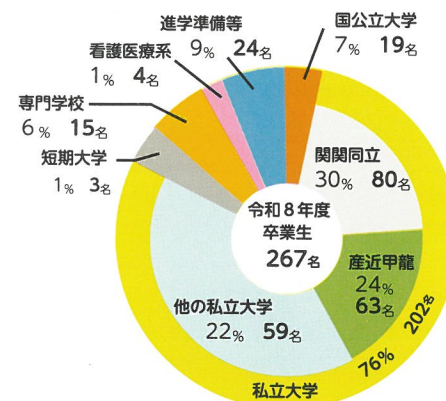
過去3年間のおもな進学先

- 大阪大学・神戸大学・大阪教育大学・広島大学・岡山大学・富山大学・和歌山大学・滋賀大学・鳥取大学・山口大学・愛媛大学・徳島大学・兵庫教育大学・琉球大学 他
- 兵庫県立大学・大阪公立大学・神戸市外国語大学・神戸市看護大学・芸術文化観光専門職大学 他
- 関西大学・関西学院大学・同志社大学・立命館大学・京都産業大学・近畿大学・甲南大学・龍谷大学・青山学院大学・慶応義塾大学・明治大学・法政大学 他



進路状況

令和8年度 卒業生(80期生) 267人の進路先



過去3年間の主な大学別合格者数

国公立大学	令和8年		令和7年		令和6年	
	現	過	現	過	現	過
北見工大			1			
富山大					1	
滋賀大	1				1	
京都教育大					3	
大阪大					1	
大阪教育大	2		1			
神戸大	1		1		.	
兵庫教育大学	1					
鳥取大					1	
岡山大					1	
広島大	1					
山口大	1					
徳島大	1		1		2	
香川大			1			
愛媛大					1	
高知大					1	1
琉球大					1	
高崎経大			1			
福知山公立大	1					
大阪公立大	1			1		
神戸市看護大	2		1		1	
兵庫県立大	4		2		4	
神戸市外大	1		3	1		
福岡県立大	1					
芸術文化観光専門職大学			1		1	



●進路へ向けてきめ細やかなサポート

普段の授業

日々の授業を通して、基礎・基本を徹底的に定着させるとともに、自ら考え、探究する力を育成します。積み重ねた学びにより、応用力・実践力へとつなげ、進路実現に直結する力を養います！

特別講座（小論文講座・長期休業中補習）

近年、多くの大学等で必須となっている小論文対策にもしっかりサポート。小論文模試や外部講師による実践的な指導を通して着実に力を養います。また、長期休業中には、実践力の向上や受験対策に特化した講座を開講し、学校全体で進路実現をサポートしています。

個人面接指導

面接もそれぞれの志望校に合わせて実践的なトレーニングを重ねています。担任だけでなく進路課、それぞれの専攻に合わせてチーム芦高として生徒個人へオーダーメイドの指導を行っています。



卒業生 合格体験記

（進路のしおりより抜粋）

広島大学 文学部 人文学科

私は小学生の時に地理や歴史に興味を持ち、少しずつ将来を考えるようになりました。高校入学後は地質学や考古学など様々な学問に興味を持ち、高1から大学の資料請求やオープンキャンパスに多く参加することを心がけました。最終的に自然地理学が歴史地理学を勉強したいと思い、それぞれの分野で教えてもらいたい教授がいる大学を志望校に選びました。3年間ずっと見てくださった担任の先生や家族に励ましてもらったおかげで、自信を持って目標に向かうことができました。また進学先の受験方法は、確実に学びたい自然地理学を専攻するため、総合型選抜で受験することになりました。志望理由書と課題図書を読んで挑む小論文、口頭試問、共通テストの3次試験まであり、共通テスト以外は対策方法がさっぱり分からずとても悩みました。そのたびに様々な教科の先生方に相談に乗っていただき、自分に合った勉強法を見つけることができました。…多くの人に助けってもらいながら珍しい経験を沢山することができ、充実した日々として一生覚えていると思います。

神戸市看護大学 看護学部 看護学科

私がこの大学を推薦で受けようと思ったのは、高校2年生の夏休み、オープンキャンパスに参加してからでした。3年次の1学期までは定期テストなどに重きをおいて勉強していました。本格的に受験勉強を始めたのは3年次の6月頃からです。試験が英語の資料読解を含む小論文だったので、英語に勉強時間のほとんどを費やしました。10月頃からは面接練習と小論文の対策も行いました。面接練習はすればするほど良くなり、本番も程よい緊張感で受けられるので、担当の先生などをお願いし、たくさん練習するのがいいと思います。皆さんに伝えたいことは、分からないと思ったことはその日のうちに解決すること、本番を想定して勉強することです。分からないところを1日でも放置してしまうと、どんどんやる気がなくなり、遅れがちになるので、苦手分野でも毎日向き合うのが大切だと思います。また、本番を想定して緊張感を持った状態で勉強することで、本番では程よい緊張感で受けることができ、焦ることも少なくなると思います。受験勉強は長く大変なことも多いと思いますが最後まで諦めず頑張ってください！

関西学院大学 教育学部 幼児教育コース

私は将来、院内で入院する子どもたちに対して幼稚園や保育園と同じ教育を実現するために病棟保育士になりたいという思いを持ちました。その思いは高校での探究の授業を通してさらに強くなりました。私は教育分野で多様性の理解について研究し個性や多様性が重視される現代社会において広い視野を持つことや他者との違いを理解し認めあう力を身につけることが大切ということ、そのためには幼い頃からの教育が必要だということを学びました。試験内容は、一次審査が自己推薦書と学びの計画書、小論文審査、二次審査が面接でした。書類は納得のいくまで何度も書き直し、担任の先生や顧問の先生に見ていただきました。小論文は、毎年教育関連のテーマが出題される傾向があったため、過去5年分の問題を解き、国語の先生に添削していただきました。面接も多くの先生方や家族に協力してもらい、慣れるまで何度も練習を重ねました。受験に挑む中で不安を感じることもあるかもしれませんが、芦屋高校にはみなさんを支えてくださる先生方がいます。そして努力し続ければ、きっと夢は叶います。夢を叶えた私だからこそ、自信を持ってそう言えます。みなさんのことを心から応援しています。